

JPPC 日本公共スポーツ施策推進協議会

公益財団法人
世田谷区スポーツ振興財団

「好事例にみる指定管理者の効果的な提案戦略 2025」 ～民間事例にみるこれからの施設運営戦略～ 実施報告書

- 1 日程 令和7年2月19日（水）～2月20日（木）
- 2 会場 世田谷区立砧区民会館「成城ホール」1Fホール・集会室 CD
- 3 主催等
 - (1) 主催 日本公共スポーツ施策推進協議会
(事務局：(公財)世田谷区スポーツ振興財団)
 - (2) 共催 (一財)札幌市スポーツ協会、(公財)仙台市スポーツ振興事業団、
(公財)新潟市開発公社、(公財)名古屋市教育スポーツ協会、
(公財)滋賀県スポーツ協会、(一財)どんぐり財団
(公財)広島市スポーツ協会、(一財)熊本市文化スポーツ財団
 - (3) 後援 スポーツ庁、(公財)日本スポーツ施設協会、世田谷区
 - (4) 協賛 コカ・コーラ ボトラーズジャパン (株)
- 4 対象者 公共スポーツ施設を指定管理者として管理運営している全国の自治体外郭団体所属職員
- 5 内容

▼「効果的な提案戦略」をテーマに、全国から37団体134名が受講

令和7年2月19日（水）～20日（木）、世田谷区立砧区民会館の「成城ホール」において、JPPC 講習会が開催された。

この講習会は、日本公共スポーツ施策推進協議会が主催し、全国各地の外郭団体が培った運営ノウハウの共有と、指定管理者としての持続的な成長を目的に開催。全国から37団体134名の自治体外郭団体が受講した。

開講式では、ご後援のスポーツ庁 参事官（地域振興担当）付参事官補佐の玉那覇氏、(公財)日本スポーツ施設協会 専務理事 小菅氏による挨拶が行われた。

▼JPPC 講習会初の民間企業を交えたシンポジウムを開催

本講習会は、スポーツ庁 競技スポーツ課 課長補佐・田口氏による基調講演「スポーツ庁の役割とスポーツにおける好循環について」で幕を開けた。2日目には、(株)クラブビジネスジャパン代表取締役社長であり、フィットネスビジネス編集発行人でもある古屋氏が「国内フィットネス業界の最新トレンドとこれからの経営戦略」と題した講演を行い、業界の現状と展望について語った。

また、今回の講習会の目玉の一つであるシンポジウム「民間事例にみるこれからの施設運営」では、(株)hacomonoの北島氏、野村不動産ライフ＆スポーツ(株)の林田氏・柏木氏が事例を発表。その後、(公財)世田谷区スポーツ振興財団の久木田氏をコーディネーターに迎え、「民間事業者の実例・マーケティング」「民間事業者の指定管理者状況」の2つのテーマについて、白熱したディスカッションが展開された。

さらに、JPPC 公認「ボトムアップ提案事業」～JPPC アワード～では、全国から寄せられた多数の提案の中から、JPPC 幹事団体による一次審査を通過した9団体がプレゼンテーションを実施。指定管理者の新たな取り組みや、施設運営の革新に向けたアイデアが発表された。

この2日間を通じて、受講者は持続可能な組織運営に必要なノウハウを学び、公共スポーツ施設の未来に向けた貴重な知見を得る機会となった。



スポーツ庁田口課長補佐による基調講演

(株)クラブビジネスジャパン
古屋代表取締役社長の講演

JPPC 初の民間企業を交えたシンポジウム



ボトムアップ提案事業表彰式 入賞団体

【本件担当】日本公共スポーツ施策推進協議会 事務局：公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団
施設課 施設係：前川・榊原・中島 TEL.03-3417-2811 FAX.03-3417-2813